

## 行政書士又は行政書士法人による代理申請の場合の記入例

### 様式第 1

根拠法規	とうもろこし等の関税割当 制度に関する省令第 1 条
主務官庁	農 林 水 産 省

行政書士又は行政書士法人（以下「適格代理人」という。）が作成及び提出する申請・報告書類における申請者氏名（名称）及び申請者住所は、申請・報告当事者の申請者氏名（名称）及び申請者住所に加え、適格代理人の登録番号、氏名、事務所名称及び事務所所在地も併記すること。

### 関 税 割 当 申 請 書

※受 付 番 号

※受付年月日

電 話 番 号   〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

申請者氏名（名称）   〇〇〇〇株式会社  
適格代理人氏名（名称）   登録番号   第〇〇〇〇〇〇〇〇号  
行政書士   〇〇〇〇  
〇〇行政書士事務所  
申 請 者 住 所   〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇  
適格代理人事務所所在地   〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇

代 表 者 名   代表取締役   〇〇〇〇

資      格   （例）第 2 の 1 の（1）

申 請 年 月 日   令和〇〇年〇〇月〇〇日

### 申請の明細

関税率 表番号	品 名	数量及び単位	実      績		主な使用の計画	備   考
			使   用	輸   入		
（例） 1107.10 1107.20	（例） 麦   芽	〇〇kg又はトン	〇〇kg又はトン	〇〇kg又はトン	（例） ビール用 〇〇kg又はトン	

注 1   用紙の大きさはA列 4 番とすること。

2   ※印のある欄には記入しないこと。

### <記入上の留意点>

「関税割当申請書等の記載要領について（令和 6 年 3 月 1 日付け 5 輸国第 4383 号）（以下「記載要領」という。）」に定めるほか、関税割当申請書の受付の担当課の指示がある場合を除き、以下によ

るものとする。

- 1 「資格」欄：記載要領の1の(2)に定めるほか、申請時点において効力を有する関税割当公表の「関税割当申請者の資格」に掲げる資格要件が複数ない場合は、本欄への記入は要しない。
- 2 「実績」欄：前年度又は前期における輸入（使用には前年度期初在庫を使用した数量及び販売した数量を含む。）数量を記入すること。  
なお、前年度又は前期に使用又は輸入がない場合は、それぞれの欄に「0」と記入すること。  
前年度又は前期に関税割当てによる輸入はないが、枠外税率及びEPA関割特惠税率による輸入がある場合は、「輸入」欄に「〇〇トン（枠外又は（及び）EPA関割）」と記入すること。
- 3 「主な使用の計画」欄：本申請時点において計画している主な用途（例 ビール製造用、販売用）及び数量を記入すること。